クラシックがもっと好きになる！

クラシック音楽鑑賞講座



「クラシック音楽って難しそう」という印象をお持ちの方を対象に、クラシック音楽の面白さや魅力を
さまざまなエピソードを交えながらわかりやすく伝える講座です。
今回は、国際的に活動するピアニスト末永 匡さんを講師に迎え、
普段は聞けないプロのピアニストの目線からクラシック音楽にまつわるお話をお届けします。

第1回 1月31日(日)

知っていそうで知らない ベートーヴェン
～名曲の向こうに見える素顔～



「エリーゼのために」や「悲愴ソナタ」など、数多くの名曲を残したベートーヴェン。馴染みのある作品も、意外なエピソードや「実はこうだったの!?」という驚きの話、楽譜をパズルのように読み解く視点から眺めると、人間ベートーヴェンの意外な一面が見えてきます。ピアノの実演を交えながら、クラシック音楽のワクワクする世界を冒険しましょう！

第2回 2月7日(日)

ピアニストという仕事
～1曲の音楽が生きた音になるまで～



ピアニストは、どのようにして1曲の音楽をつくり上げていくのでしょうか。楽譜と向き合う時間、練習の工夫、演奏会に向けた準備、そして舞台の上で感じること。普段はなかなか知ることのできない「ピアニスト」という仕事を実演を交えてご紹介します。皆さんとの対話も楽しみながら、音楽を聴く楽しみを広げ、コンサートでの聴き方や見方にも新たな発見が生まれる講座です。

各回 **15:00開始** (14:45受付)　※講座は75分間を予定　※1回のみの受講・連続しての受講、どちらも可能です。



講師： 末永 匡（すえなが ただし）(ピアニスト)

日本を拠点に国際的に活動するピアニスト。深い感性と徹底した探究心をもって「音楽と人間」という問いを追い続けている。桐朋学園、ベルリン芸大、フライブルク音大、モーツァルテウム音楽院で研鑽を積み、2006年ドイツ国家演奏家資格を取得。同年、ブラームス協会の招待でブラームスの旧居に滞在。2009年東京文化会館にて公式デビュー。国内外のオーケストラとの共演、室内楽、歌曲、オペラなど幅広く活躍。また、日本各地でセミナー、公開レッスン、室内楽講座を数多く開催。作品の本質に迫る洞察と実践的なアプローチで、演奏者の新たな可能性を切り拓いている。14年にわたり日本とエジプトの文化交流を推進し、《Music Connects Us Project》を通じて音楽と多様な芸術、人と人をつなぐ活動にも取り組む。音楽の可能性を演奏と教育、社会との関わりの中で探究し続けている。

会　場 タクトホームこもれびGRAFAREホール 1階リハーサル室

対　象 高校生以上どなたでも

定　員 各回 25名(先着順)

参加費 各回 500円(税込)　※当日支払い

お申し込み 12月7日(月)12:00より受付開始
- 会館窓口 (9:00～22:00)
- 電話(042-421-1919)
- 右の申し込みフォーム

主催・お問合せ

タクトホームこもれびGRAFAREホール(保谷こもれびホール)
042-421-1919　〒202-0013 東京都西東京市中町1-5-1

開館時間 9:00～22:00　**休館日** 5月、8月、11月、2月の第2月曜日（祝日の場合翌日）、休館日（12/29～1/3）

主催：タクトホームこもれびGRAFAREホール(指定管理者：株式会社ケイミックスパブリックビジネス)